

小学校第6学年 外国語活動 学習指導案

1 単元名

What do you want to watch? オリンピック・パラリンピック (We Can! 2 文部科学省)

2 単元について

(1) 本単元は、小学校新学習指導要領における第2章第10節外国語第2の2内容(3)①言語活動に関する事項 ア 聞くこと、イ 読むこと、エ 話すこと [発表] を受けて、オリンピックやパラリンピックで注目の競技や選手について伝えたいことを整理して発表することをねらいとしている。

今回、「観戦したい競技と注目選手について友達や中学生に紹介し合う」という課題を設定した。課題の達成に向けた一連の言語活動を通して、相手に配慮しながらコミュニケーションを図る体験をすることで、コミュニケーションの楽しさや大切さを実感させることが期待できる。このことは、児童自身が多様な人との対話の中で主体的に他者と関わろうとする態度の育成につながるものであり、ひいては一人一人が未来の創り手となることに資するものであると考える。

また、本単元において、様々な競技の中から観戦したい競技を選び、自分の考えや気持ちを、理由を明確にして表現することや、相手の考えや気持ちを聞いて理解することは、学校教育目標である「自他を尊重し、よりよく生きるための自己実現を主体的にめざす、人間性豊かな児童生徒の育成」の実現につながるものであると考える。

(2) 本単元の系統は次のとおりである。

言語の働きに関する事項「考えや意図を伝える」

【小学校英会話科】

第4学年(10月)
【Super Step 2】 Lesson 11 朝ごはんはいかが？

【小学校外国語活動】

第5学年(9月)
【Hi, friends! 1】 Lesson 6 “What do you want?”

第6学年(11月) 本時
【We Can! 2】 Unit 6 (本単元) “What do you want to watch?”

第6学年(2月)
【We Can! 2】 Unit 9 “Junior High School Life”

【中学校外国語(英語)】

中・第1学年(6月)
Unit 3 わたしの好きなこと I like ~.

第2学年(6月)
Unit 3 Career Day I want to~.

第2学年(10月)
Unit 5 Universal Design I think that ~.

第3学年(9月)
Unit 4 To Our Future Generations I want you to ~.

(3) 児童の実態は次のとおりである。

外国語活動に関する意識調査の結果は次のとおりである。

(1:いいえ~4:はいの4段階で回答)

平成30年7月20日実施

質 問	平均値
1 外国語活動の学習に興味や関心を持って取り組んでいる。	3.60
2 外国語活動の学習で、どのように活動を行うのか、見通しを持って学習に取り組んでいる。	3.20
3 外国語活動の学習で何を学んだのか、どのように学んだのかについて振り返っている。	3.76
4 外国語活動の授業の中で、よりよく伝えるためにどのようにしたらよいかを考えて活動している。	3.40

意識調査の結果から、英語への興味・関心は高く、学習に対して意欲的に取り組んでいる児童が多いことが分かる。授業では、教師が話す英語やデジタル教材の音声を取り取る活動において、知っている単語から意味を推測したり、映像から判断して聞き取ろうとしたりする様子が見られる。また、新出の

語句や表現の導入の際も、意欲的に声を出して練習したり会話をしたりしている。

これまで、2つの単元で「振り返りカード」を活用して、単元のゴールや本時のめあてを見通して学習に取り組んだり、授業の終わりに本時の学びを振り返ったりする活動を継続して行ってきた。「聞く」「話す」スキルの高まりを自分で確認したり、本時のめあてに照らして、気付きやできるようになったことを自ら確認したりすることもできるようになってきた。「書くこと」についても、音声で慣れ親しんだ表現を用いて、夏休みの思い出を絵日記に書く活動や、住んでいる地域の紹介をポスターで表現する活動に取り組んできており、様々な表現手段を通して、文字への興味・関心も高まっている。

(4) 指導に当たっては、次の事項に留意する。

- 中学校英語教師の乗り入れ授業によるティーム・ティーチングにより、中学校外国語との系統性を意識した言語活動を工夫することで、児童の外国語学習に対する意欲や期待を高める。
- 研究の視点①②に基づき、次のような工夫を行う。

【研究の視点①】
「見方・考え方」に着目した問いの工夫

コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて適切な言語材料を選択し、他者に配慮しながら既習表現などを駆使してコミュニケーションを図る課題を設定する。

【研究の視点②】
学びを実感する振り返りの工夫

コミュニケーションの場面などを明確にしたうえで、「聞く」「話す」力を自己評価する場面を設定する。また、自己の学びの変容や到達度を記録し、学びの深まりを実感させる。

3 単元の目標と評価規準

単元の目標	オリンピック・パラリンピックで観戦したい競技について伝え合ったり、注目の選手を紹介したりしてコミュニケーションを楽しむ。	
コミュニケーションへの関心・意欲・態度【コ】	外国語への慣れ親しみ【慣】	言語や文化に関する気付き【気】
①オリンピック・パラリンピックの注目選手や観戦したい競技について、他者に配慮しながら伝えようとしている。	①オリンピック・パラリンピックで観戦したい競技を聞いたり伝えたりしている。 ②オリンピック・パラリンピックについて書かれている英語を推測しながら読んだり、例文を参考に書いたりしている。	①競技名について、日本語との言い方の違いに気付いている。 ②オリンピック・パラリンピックについて知り、開催される競技について興味を持っている。

4 指導・評価の計画（8時間取扱い 本時7／8）

単元のゴール：東京オリンピック・パラリンピックで観戦したい競技や注目の選手を紹介し合い、観戦したい競技を決めよう！

次	時	学習活動	研究の視点	評価
一	1	1 単元のゴールを知る。 2 開催される競技の言い方を知る。 ・競技名 3 オリンピック・パラリンピックについて知る。	【研究の視点①】 単元終末のコミュニケーション活動を視覚的に示すことで、単元のゴールを共有し、活動の見通しを持つ。	【気】①②： 観察 振り返りシート
二	2	4 各競技を観戦したいかどうか尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 5 ワードボックスから観戦したい競技名を選んで書き写す。 ・ I want to watch ~. / Do you want to watch ~?	【研究の視点②】 競技名の英語の慣れ親しみの状況を視覚化し、自己の学びの深まりを実感する。	【慣】①： 観察 ワークシート 振り返りシート
三	3	6 オリンピックでどんな競技を観戦したいか尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 7 例文を参考に、自分の考えを書く。 ・ What sport do you want to watch?	【研究の視点②】 競技名の英語の慣れ親しみの状況を視覚化し、自己の学びの深まりを実感する。	【慣】①： 観察 振り返りシート
四	4	8 既習表現を活用しながら、パラリンピックで観戦したい競技を尋ね合う。	【研究の視点①】 情報を集めるために既習表現を自己選択してやり取りをする体験をする。	【コ】①： 観察 振り返りシート ワークシート
五	5	9 得意な競技を伝える表現を知る。 ・ I'm good at ~. 10 3ヒントクイズをしながら、第三者を紹介する表現に慣れ親しむ。 ・ He / She is ~. ・ He / She can ~.	【研究の視点①】 クイズの場面を想定して、条件に合う適切な表現を選択したり、伝える情報を整理したりして伝える体験をする。	【慣】①②： 観察 振り返りシート
六	6	11 パラリンピックで観戦したい競技と注目選手の情報を整理し、発表の準備をする。	【研究の視点①】 既習事項や新出語句等から適切な言語材料を選択・活用し、自分の考えを整理して、聞き手に配慮しながら伝える練習をする。	【慣】②： 観察 プレゼンシート 振り返りシート
七	7 本時	12 相手によりよく伝わるように観戦したい競技と注目選手を発表し合う。 13 友達の発表を聞いて興味をもった競技やその理由を発表し、共有する。	【研究の視点①】 相手に配慮しながら、既習事項や新出語句等の中から適切な言語材料を選択・活用して情報や考えをよりよく伝える。 【研究の視点②】 既習表現を活用しながら、発表を聞いて興味を持った競技について伝え合い、自己の学びの状態を振り返る。	【コ】①： 観察 発表 振り返りシート
八	8	14 中学生によりよく伝わるように観戦したい競技と注目選手を発表し合う。	【研究の視点①】 相手に配慮しながら、既習事項や新出語句等の中から適切な言語材料を選択・活用して情報や考えをよりよく伝える。	【コ】①： 観察 発表 振り返りシート

5 本時の授業（7／8時間目）

(1) 目標 相手によりよく伝わるようにパラリンピックで観戦したい競技と注目選手を発表し合う。

(2) 展開

過程	学 習 活 動	指導上の主な留意点及び評価			備考
		T 1 (中学校教師)	T 2 (学級担任)	T 3 (英会話講師)	
導入 5分	1 挨拶をする。 2 本時のゴールを確認する。	○英語で挨拶をし、英語学習の雰囲気を作る。 ○Today's Goalを示し、児童に本時の活動のイメージを持たせ、活動への意欲を持たせる。	○児童の様子を観察し、必要に応じて個別に支援をする。	○児童の様子を観察し、必要に応じて個別に支援をする。	
	<p>Today's Goal : 「観戦したい競技と注目選手」について発表し合い、「観てみたい!」と思う競技を決めよう。</p>				
	3 活動のモデルを見る。	○児童の活動と同じ手順でデモンストレーションを行い、活動のイメージを持たせる。 徹底指導 これまでで慣れ親しんだ表現を用いたデモンストレーションを示すことで、既習表現やコミュニケーション活動における配慮事項を再確認する。	○発表の感想やリアクションを返し、聞き手のモデルを示す。	○発表の感想やリアクションを返し、聞き手のモデルを示す。	
展開 30分	4 グループ内で、発表に向けた練習をする。 5 グループごとに発表し合う。 (1) 活動の手順を確認する。 ・1グループ3分程度で交互に発表する。 ・発表が終わったら、聞き手は感想を伝える。 (2) グループを替えて、(1)を繰り返す。 【言語活動】(設定の意図) パラリンピックについて未知の情報を既習表現等を活用して発表し合う場を設定することで、相手に配慮しながら発表したり、聞いたりすることができるようにする。	○担当グループにつき、発表内容について質問したり、発表方法等について助言したりする。 【研究の視点①】 「観てみたい」と思う競技を決めるために発表し合うという目的意識を持たせることで、話し手、聞き手双方が相手意識を持ってコミュニケーションを図る体験をさせる。 能動型学習 相手に分かりやすく伝えるために内容や伝え方を各グループで工夫しながら発表したり、相手の発言に応じて適切に応答したりする体験を行う。 ○発表の様子を観察し、必要に応じて個別に支援をするとともに、音声・表現・態度面の評価記録を行う。			プレゼンシート ステッカー
		<p>評価：コミュニケーションへの関心・意欲・態度 (観察・発表・振り返りシート) 相手に共感してもらえるような工夫をしながら発表しようとしている。また、相手の発表を聞いて、伝えたいことを理解しようとしている。</p>			
まとめ 10分	6 本時の学習を振り返る。 (1) 「観てみたい」と思った競技を伝え合う。 ・児童同士 ・全体 (2) 振り返りシートに記入する。	○英語で尋ね合わせた後、全体で共有する。 【研究の視点②】 既習表現を活用しながら、発表を聞いて興味を持った競技について伝え合い、自他の学びのよさを振り返る。 ○本時の目標の視点から、児童の活動を振り返らせ、よかったところを価値付ける。	○個別に支援をする。	○個別に支援をする。	振り返りカード